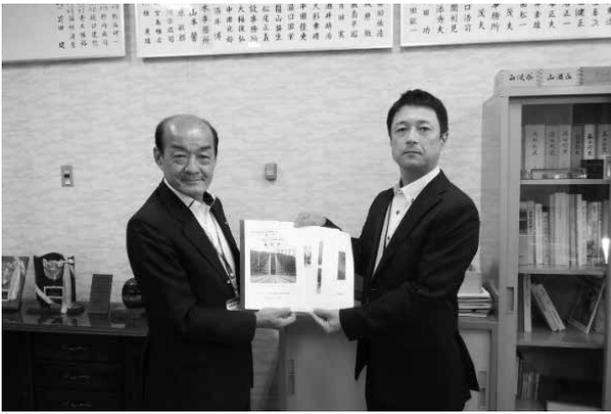


国道303号他3路線の道路整備等を具へ要望をしました

10月3日(火)、岡部町長が、揖斐土木事務所長へ、国道303号改良整備促進期成同盟会他3同盟会(国道417号・県道根尾谷汲大野線・県道藤橋根尾線)の道路整備の要望活動をしました。

主な要望として、国道303号は、今年8月の台風7号などで、奥いび湖大橋(東横山)から揖斐高原線交差点(坂内坂本)までの区間が何日にもわたり通行止めとなったことから、現在工事を進めている(仮称)鉄嶺トンネルの早期完成を強く要望しました。



▲苅田揖斐土木事務所長へ要望書を手渡す岡部町長

叙位(正六位)を受章されました

故 高橋 治彦 さん(日坂)

令和5年7月19日に亡くなられた高橋治彦さん(日坂)が叙位(正六位)を受章され、岡部町長よりご家族へ伝達が行われました。

高橋さんは、昭和46年5月から平成15年4月までの8期32年の長きにわたる旧久瀬村議会議員として在職され、産業の発展や教育、文化、福祉の向上に尽くされました。

また、平成元年2月から平成7年3月までは、久瀬村消防団長として地域消防や防災活動にも尽力されました。

これらの生前の功績が認められ、今回の叙位の受章となりました。この多大な功績に敬意を表しますとともに心からご冥福をお祈りします。



▲ご家族へ叙位の伝達が行われました

叙勲を受章されました

瑞宝双光章

細野 泰弘 さん

細野さんは、昭和34年4月に大野郡莊川村立莊川小学校の教諭として赴任され、徳山中学校、大野小学校、小島小学校などの揖斐郡小中学校に勤務されました。その後、海津町立吉里小学校にて教頭に赴任され、大野北小学校での教頭勤務を経て、海津町立吉里小学校の校長に赴任されました。そして、平成8年3月に、谷汲中学校長で定年退職されました。長年に渡り、学校教育の推進に尽力されました。

これらの功績が認められ、今回の受章となりました。栄えある受章おめでとうございます。これからもお元気で過ごしてください。



▲叙勲を受章された細野さん

叙勲を受章されました

旭日单光章

廣瀬 雅美 さん(坂内広瀬)

廣瀬さんは、昭和58年4月から平成7年4月までの3期12年の永きにわたり、旧坂内村議会議員として在職されました。

在職中は、総務委員会委員や産業建設委員会委員を務められ、特に昭和62年5月から平成元年5月までは広瀬スキー場建設特別委員会委員長としてスキー場建設に尽力され、坂内村の振興発展に多大な貢献をされました。

これらの功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。受章おめでとうございます。



▲叙勲を受章された廣瀬さん



▲寄附金贈呈式の様子
(右:株大垣ケーブルテレビ 五十川社長)

企業版ふるさと納税を活用して寄附いただきました

10月6日(金)、株式会社大垣ケーブルテレビより、企業版ふるさと納税として、寄附金70万円をいただきました。

今回の寄附金は11月に開催するいびがわマラソンの運営や地域学習支援事業に活用されます。

目録を手渡した五十川社長は「少しでも揖斐川町の活動に協力できれば」と話し、目録を受け取った岡部町長は「いびがわマラソンを通じて、地域の活性化や関係人口の拡充につなげたい」と述べました。

災害時における宿泊施設等の提供に関する協定締結式について

10月12日(木)、谷汲旅館組合と、災害時における宿泊施設等の提供に関する協定を締結しました。

この協定は、揖斐川町内で災害等が発生した際に、町が開設する避難所が不足する場合において、要配慮者への避難を円滑に行えるように、可能な範囲で宿泊施設等の提供を依頼することができます。

今回の協定締結を含め、今後とも災害に強いまちづくりを進めていきます。



▲協定締結式の様子(右:谷汲旅館組合 北野組合長)

こいやーかすがまつりを開催しました

10月15日(日)、かすがモリモリ村で、こいやーかすがまつりを開催しました。

このまつりは、春日地区の自然と伝統文化を広くPRし、産業の振興と地域の活性化を目的としたもので、特設ステージでは、地元園児・児童・サークルによる発表、川合太鼓踊り保存会による太鼓踊りが披露され、テントブースでは、地域の特産品などの販売も人気で、商品を買いたい求める人で賑わいました。

その他、わらざうり飛ばしや丸太切り大会などの参加イベントも行われるなど、来場者は楽しい一日を過ごしました。



▲川合太鼓踊り保存会による太鼓踊り

いびがわ診療所が開所しました

11月1日(水)、いびがわ診療所のオープンングセレモニーが行われました。

開所となったいびがわ診療所は、今年9月末まで揖斐厚生病院の健診センターとして使われていた建物を、町がリニューアルしたものです。

式典のあいさつで岡部町長は「皆さまの協力で新たに診療所を設置することができた。地域に愛される診療所を目指したい」と話しました。

いびがわ診療所は、指定管理者として公益社団法人地域医療振興協会が運営します。診療時間など詳しくは、広報いびがわ11月号(前号)の裏表紙をご確認ください。



▲開所を祝うテープカットの様子

セントジョージマラソン 派遣団体験報告

10月4日(水)から10月11日(水)までの8日間、いびがわマラソンで優秀な成績をおさめたランナーの皆さんがマラソン交流事業の派遣団としてセントジョージ市を訪れ、セントジョージマラソンに出場しました。

ランナーの皆さんからの報告書を掲載します。(一部抜粋)

■総合男子優秀ランナー

河野 孝志さん

マラソンはもちろんのこと、ホストファミリーとの出会い、ゴルフや射撃体験など、充実した時間を過ごすことができました。来年のいびがわマラソンにも出場し、またセントジョージマラソンに参加できればと思います。

■総合女子優秀ランナー

村上 史恵さん

はじめは完走できるか不安でしたが、ホストファミリーのサポートやおもてなしのおかげで完走することができました。今回の経験は一生の宝物となりました。

■町内男子優秀ランナー

安藤 大明さん

初めての海外レース、ホームステイということで、はじめは不安でしたが、ホストファミリーに温かく迎えていただき、現地の生活にも馴染むことができました。レースでは自己ベストを更新することができました。

■町内女子優秀ランナー

平井 律子さん

広大な自然の中で沢山の声援をもらいながら楽しく走ることができました。ホームステイ先では、現地の文化や歴史、生活習慣に触れることで多くの学びがありました。この素晴らしい交流会がこの先もずっと続いて欲しいと思います。



▲スタート直前のランナーの皆さん
(左から村上さん、平井さん、安藤さん、河野さん)

セントジョージ派遣団が 揖斐川町を訪れました

11月8日(水)から13日(月)の6日間、アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市から派遣団が来日しました。

派遣団は、10月に行われたセントジョージマラソンの成績優秀ランナーや地元の中学生など総勢27名です。

今年マラソン交流32回目の年であり、セントジョージマラソンディレクターのシエーン・モアーさんが派遣団の団長を務められました。

派遣団は、マラソンやウォーキング、会場の物産展などを楽しみました。

揖斐川町滞在中は、町内のホームステイ先で日本の文化に触れ、日本の生活を満喫しました。



▲セントジョージ派遣団とホストファミリーの皆さん

あたたかい善意 いびがわマラソンへ

10月16日(月)、西濃建設(株)様より協賛金をいただきました。



他にも

(公財) 田口福寿会様

イビデン(株)様

アピ(株)様

フィットイージー(株)様

(有)揖斐川清掃様

(株)末永電気様

JAいび川様をはじめ、町内外の皆さまより多くのご協賛金をいただきました。ありがとうございました。

